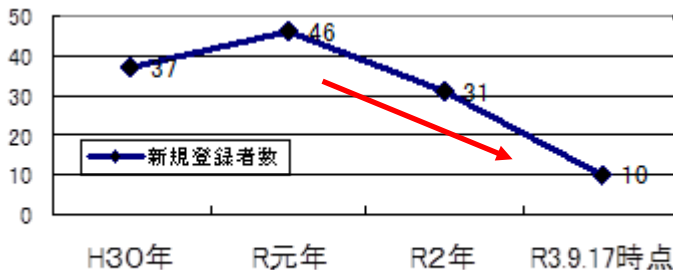


コロナの影響で、「結核」が減少？！

◆福島市における結核の新規登録者数



R元年からR2年にかけて、全国的に結核の新規患者数が減少しています。

患者が減ることは良いことだけれど・・・



◆新型コロナウイルス感染症と結核

新型コロナウイルス感染症の影響をうけて、マスクの着用等が習慣化したことや、人との接触の機会が減少したことも考えられますが、より大きな影響として病院の受診控えや健診の中止・延期等による検査数の減少によって診断に至っていないことが、患者数が減少している理由の一つとして、考えられています。全国的に同じ傾向にあり、今後は新たな結核患者の急増、感染拡大が懸念されています。

新型コロナウイルス感染症のPCR検査が陰性であっても、

症状が続くようであれば結核も疑いましょう。

症状がなくても、年に1度は胸のレントゲンやCT検査を受けましょう！



◆9/24～9/30は〈結核予防週間〉です

令和2年度の1年間に、全国では17,108人、福島県では184人の新しい患者が報告されています。昨年度の福島市では、31人の患者が新たに結核に感染しています。そのうち、約7割が高齢者の方です。

結核は、排菌※している患者の咳やくしゃみとともに、結核菌が空気中に飛び散り、それを同じ空間にいる人が吸い込むことで感染します。

ただし、感染した人が全員発病するわけではありません。発病するのは感染した人のうち1～2割と言われています。 ※結核を発病している人が、体の外に菌を出すことを「排菌」と言います。

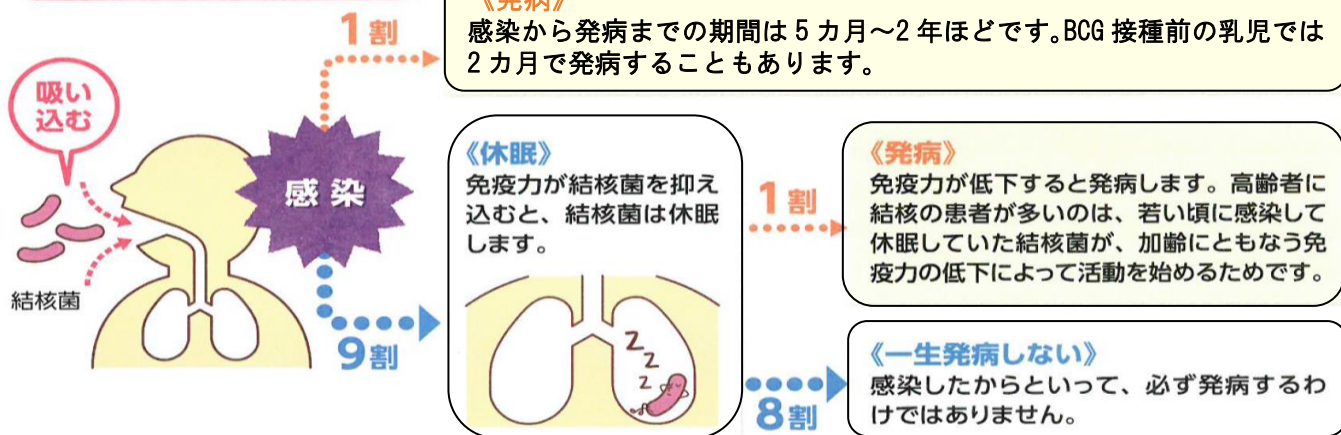
地域の皆さん一人一人が、適切な予防・受診行動を意識することで、新型コロナウイルス感染症だけでなく様々な感染症に強いまちづくりを目指しましょう！

「結核」は、過去の病ではありません！

◆結核について

結核は過去の病という印象がありますが、今も流行している感染症です。若い世代の患者数も多く報告されています。自身の健康状態を把握し、感染症への理解を深めましょう。

結核の感染から発病まで



◆主な症状

長引く咳、痰などの呼吸器症状、微熱、体重減少（食欲低下）、だるさなどがあります。

※高齢者などでは、症状が目立たずに気づかないうちに進行してしまうことがあります。

➡ **症状が続く場合は、医療機関を受診しましょう！**

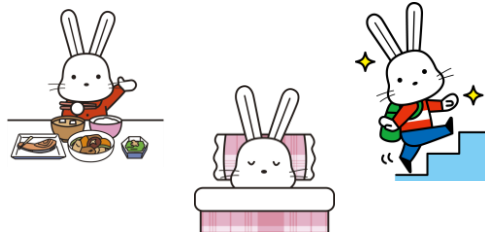
◆予防方法

感染予防・発症予防のどちらにも共通する重要なことは、

『**体の免疫力を高めておく**』ことです。

栄養バランスのよい食事と十分な睡眠、適度な運動など、

普段から規則正しい生活を心がけましょう！



免疫力を高めることは、

結核の発病だけではなく、コロナなど他の感染症の予防にもつながります！

また、抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症化しやすく、BCGワクチンの予防接種が有効です。厚生労働省では、生後1歳に至るまでの接種を推奨しています。



結核は、適切に薬を飲み続けることで治る病気です！

早期発見・早期治療、そして治療を中断しないことが重要です！

～患者さんが安心して治療を完遂できるよう、病院と保健所で支援いたします～

◎高齢者インフルエンザ予防接種が始まります

令和3年10月1日から12月28日まで、

インフルエンザの定期予防接種を実施します。

予防接種で重症化を防ぐことができます。

希望される方は、お早めにお受けください。

詳しくは市政だより、HP等をご覧ください。

発行日：令和3年9月24日

発行元：福島市保健所 保健予防課 感染症対策係

住所：〒960-8002

福島県福島市森合町 10-1

電話：024-572-3152

HP検索キーワード

福島市保健所 感染症